

平成28年度当初予算

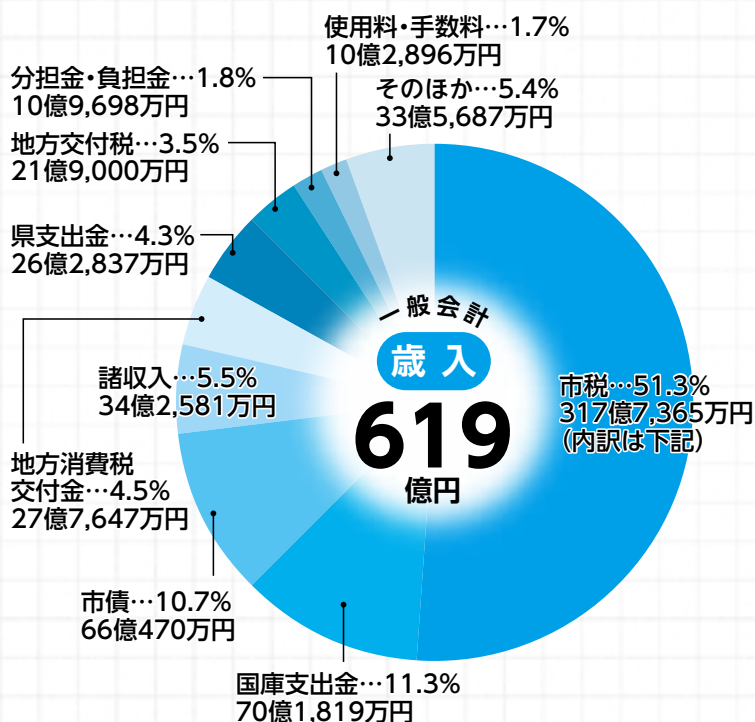
一般会計

619億円

平成28年度予算案が3月定例市議会にて可決されました。一般会計は619億円で、27年度と比較すると、8億円（1.3%）の増額。特別会計と水道事業会計を合わせた予算総額は912億1,447万円となり、27年度より14億4,962万円（1.6%）の増額となっています。

本市の財政は、歳入では、固定資産税を中心とした税収の安定により、自主財源が確保されています。

歳出では、扶助費、公債費などの義務的経費や、老朽化した公共施設の維持・更新の経費の



歳入

市税(全体の51.3%)は317億7,365万円で、27年度と比較すると8億1,913万円の増収となっています。国庫支出金(同11.3%)は70億1,819万円となり、2億6,294万円の増額。市債(同10.7%)は66億470万円で、8,500万円の増額となっています。

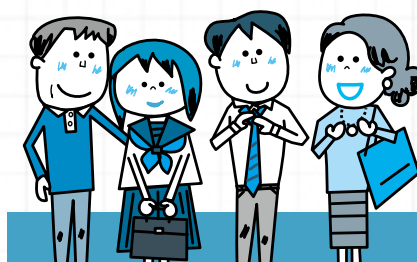
市民1人が納める市税は24万円です

市民の皆さんが28年度に納める予定の市税の内訳は次の通りです。これを市民1人当たりへ換算すると約24万円となります(市税予算額317億7,365万円÷平成28年2月末日現在人口13万1,589人)。

市税の内訳



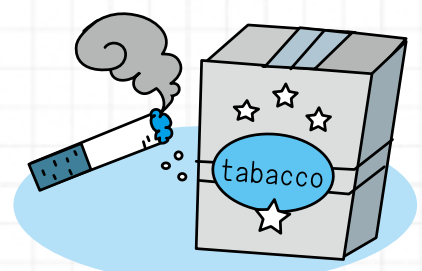
固定資産税…192億3,946万円



個人市民税…76億7,413万円



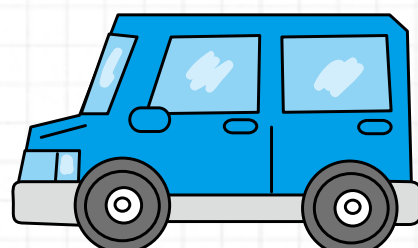
法人市民税…32億1,369万円



市たばこ税…11億7,611万円



都市計画税…1億9,939万円



その他(軽自動車税など)…2億7,087万円

特別会計

263億4,855万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設けられる会計です。市では、次の8会計を設けています。

*1万円以下を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しません

- ①国民健康保険(事業勘定)・・・155億2,541万円
被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに対し、必要な保険給付を行います。
- ②国民健康保険(施設勘定)・・・1億6,679万円
医療サービスの向上を図るため、国保大栄診療所で被保険者などに対し、診療を行います。
- ③下水道事業・・・21億2,363万円
都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ります。
- ④公設地方卸売市場・・・2億3,258万円
青果物、水産物、生鮮食料品などを安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。
- ⑤介護保険・・・66億5,291万円
被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
- ⑥農業集落排水事業・・・1億7,063万円
下総・大栄地区の農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。
- ⑦後期高齢者医療・・・9億7,522万円
後期高齢者医療制度加入者の保険料徴収や保険証の引き渡しなどを行います。
- ⑧簡易水道事業・・・5億 139万円
下総・大栄地区に給水する小規模な水道事業です。

地方公営企業会計

29億6,592万円

地方公営企業会計として「水道事業会計」があります。

水道事業収益(収益的收入)・・・20億7,071万円
水道事業支出(収益的支出)・・・20億 225万円
資本的収入・・・3億8,749万円
資本的支出・・・9億6,367万円

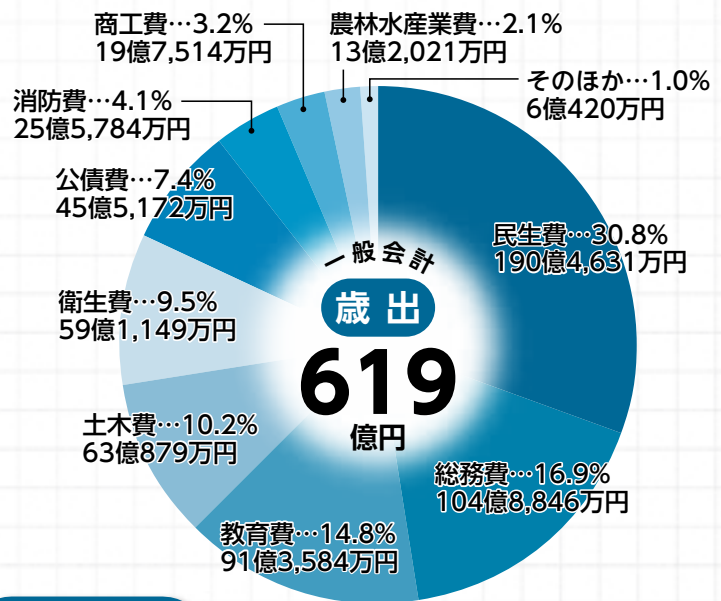


山口にある水道部庁舎

ほか、医学部誘致、少子高齢化対策、空港と周辺地域の発展と騒音対策など、課題に対する経費の増加が見込まれています。この状況に対応していくためには、市民ニーズを的確に把握し、無駄のない行政サービスの提供に努め、最小のコストで最大の効果を上げる行政経営を行うことが必要です。

平成28年度の予算編成では、市総合計画「N A R I T A みらいプラン」に示す方向性に沿って、限られた財源を効率的かつ効果的に配分し、本市が将来にわたり持続的に発展を続けていくことを主眼に置きました。

一般会計



歳出

歳出の目的別分類では、民生費が27年度比6億8,444万円増の190億4,631万円(全体の30.8%)で最も多くなっていて、児童手当支給事業、生活保護扶助費、障害者施設利用支援事業などに充てられます。2番目は総務費で、27年度比10億5,013万円増の104億8,846万円(同16.9%)となっていて、国家戦略特区推進事業、民家防音家屋等維持管理費補助事業、コミュニティバス運行事業などに充てられます。3番目は教育費で、27年度比10億8,786万円減の91億3,584万円(同14.8%)となっていて、学校給食事業、豊住中学校跡地整備事業、久住中学校増築事業などに充てられます。

市民1人当たり47万円使われます

平成28年度、市民の皆さんにいくら使われる予定かを示してみました。市民1人当たり約47万円となります(一般会計当初予算額619億円÷平成28年2月末日現在人口13万1,589人)。

市民1人当たりの歳出の内訳

民生費	14.5万円	公債費	3.5万円
総務費	8万円	消防費	1.9万円
教育費	6.9万円	商工費	1.5万円
土木費	4.8万円	農林水産業費	1万円
衛生費	4.5万円	そのほか	0.4万円

予算の主要事業

久住中学校増築事業…………… 1億9,079万円

久住中央地区の生徒数の増加による教室不足を解消するため、校舎の増築を行う。

英語科研究開発事業…………… 1億8,099万円

個性を生かす教育推進事業…………… 1億8,589万円

大栄地区小中一体型校舎建設事業…………… 1億1,142万円

図書館施設維持管理事業…………… 5,543万円

運動公園等整備事業…………… 1億7,896万円

豊住中学校跡地整備事業…………… 4億1,255万円

学校給食事業…………… 12億7,295万円

学校給食施設整備事業…………… 1億6,131万円

空港の機能を最大限に生かし、 魅力的な活気あふれる都市をつくる

スポーツツーリズム推進事業…………… 771万円

地域の優れたスポーツ資源と、旅行、観光などを融合させたスポーツツーリズムを推進する。また、大規模な国際的スポーツ大会における事前キャンプ誘致に取り組む。



7人制ラグビー男子日本代表が市内でキャンプ

コミュニティバス運行事業…………… 1億5,197万円

国家戦略特区推進事業…………… 30億6,144万円

成田ブランド推進戦略事業…………… 8,019万円

生活道路整備事業…………… 7億5,327万円

幹線道路整備事業…………… 7億3,114万円

JR・京成成田駅中央口地区整備事業…………… 1億2,364万円

表参道整備事業…………… 2億8,104万円

ニュータウン中央線整備事業…………… 12億9,011万円

活力ある産業を育て、 にぎわいや活気を生み出すまちをつくる

観光PR事業…………… 2,777万円



カシマサッカースタジアムで成田をPR(フレンドリータウンデイズ)

水田農業構造改革対策事業…………… 1億6,585万円

園芸振興対策推進事業…………… 3,660万円

農地集積・集約化対策事業…………… 2,653万円

農道整備事業…………… 1億円

排水路整備事業…………… 1億円

中小企業資金融資事業…………… 13億 281万円

企業誘致事業…………… 4,446万円

市民サービスを充実させ、 持続可能な自治体運営を行う

ケーブルテレビ視聴エリア拡大事業…………… 1,100万円

騒音地域において成田ケーブルテレビ株式会社が行う施設整備などの事業に対し、支援を行う。

旅券発給事務申請交付事業…………… 72万円

一般旅券の新規発給の申請の受理や交付などに関する業務を行う。

個人番号カード等交付事業…………… 1,512万円

マイナンバーカード(個人番号カード)の交付事務を行う。

庁舎改修事業…………… 3,512万円

総合戦略策定事業…………… 316万円

資産経営管理事業…………… 866万円

※予算書は、行政資料室(市役所1階)、市立図書館、財政課ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sis/ei/sosiki/zaisei/index.html>)で閲覧できます。くわしくは財政課(☎20-1512)へ。

平成28年度当初

安全・安心でうるおいのある 生活環境をつくる

環境保全に関する経費…………… 643万円

公共施設の電力コスト削減などを目的として設立される地域エネルギー会社に出資する。

空家等対策推進事業…………… 430万円

空き家に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。

狭あい道路拡幅整備事業…………… 1,542万円

狭あい道路の解消を推進する。

消防庁舎整備事業…………… 7,968万円

消防車両・装備強化整備事業…………… 1億5,693万円



最新機器を備えているはしご車

航空機騒音地域補助事業…………… 1億6,157万円

民家防音家屋等維持管理費補助事業…………… 6億8,218万円

成田富里いずみ清掃工場維持管理事業…………… 8億1,837万円

新清掃工場関連付帯施設整備事業…………… 2億2,170万円

いずみ清掃工場解体・ストックヤード整備事業…………… 2億1,490万円

準用河川整備事業…………… 1億 545万円

住区基幹公園整備事業…………… 9,900万円

健康で笑顔あふれ、 共に支え合う社会をつくる

保育所等入所世帯支援事業…………… 605万円

低所得で生計が困難な保護者に対し、日用品・文房具の購入費用などの一部を支給する。

地域医療対策事業…………… 4億 932万円

成田赤十字病院の肺がん治療センターの運営費など、経費の一部を補助する。

臨時福祉給付金給付事業…………… 1億1,405万円

福祉手当・見舞金支給事業…………… 4億1,390万円

障害者施設利用支援事業…………… 10億6,364万円

児童ホーム整備事業…………… 9,220万円

子ども医療費助成事業…………… 5億2,356万円

地域型保育給付事業…………… 2億6,295万円

児童手当支給事業…………… 22億2,946万円

私立保育園等運営委託事業…………… 10億 419万円

保育園整備事業…………… 6億9,759万円

私立保育園施設整備費補助事業…………… 3億9,048万円

生活保護扶助費…………… 22億1,796万円

予防接種事業…………… 3億5,610万円

結核・がん検診事業…………… 1億1,550万円

地域文化を生かし、 未来を担う心豊かな人材を育む

小学校教育用コンピュータ整備事業…………… 7,529万円

ICT(情報通信技術)を活用した効果的な教育を行うため、タブレット端末を導入する。

小学校校内LAN整備事業…………… 5,281万円

ICT教育をさらに推進するため、小学校の普通教室へのLAN整備を行う。

総合型地域スポーツクラブ育成事業…………… 20万円

地域住民により自主的に運営され、年代や技術、体力に応じてさまざまなスポーツ種目に参加できる総合型地域スポーツクラブの育成を支援する。



ボールを当ててピンを反転させるビーンボウリング